

柳迫小



にっこりやなぎー

令和6年5月13日

5月号

曾於市立柳迫小学校

〒899-8606 曾於市末吉町深川3669番地5 ☎76-1127

<http://yanagizako.synapse-blog.jp>

「若葉のころ・・・First of May」

校長 佐藤 義明

若葉が目優しく、頬に触れるが風がより一層さわやかに感じられる季節になりました。大型連休を過ごした子供たちは、満足した表情を浮かべ、「お父さんが、弟のために鯉のぼりを泳がせてくれました」「友達と約束をしてゆっくり遊ぶことができました」等、思い思いに心に残ったことを話してくれました。連休明けも全員登校日が続く様子に、どの子も充実した毎日を経験することができたのだろうとうれしくなりました。保護者の皆様には、何かとお忙しい毎日だったこととお察しします m(_)_m

さて、学校では、4・5月を「知る期間」と捉えています。これまで身体計測や各種検査・交通安全教室・避難経路確認、遊具や道具の正しい使い方等の指導をとおして子供たちは、まず自分の身体のことを正しく知り、その身体・命を守る様々な方法を学んできました。一年で最も慌ただしい時期ではありますが、少しずつ学校生活に慣れ油断が生じやすいこの時期だからこそ、真っ先に指導しなければならない内容です。

私は、4月の学校経営では、必ず職員に年度初めに身体計測を実施する意味を問うことにしています。それは、自分の身体について正しく知ることから、自他の命について考える指導へつなげて欲しいからです。単独に映る行事や各検診を、教師が意識して幾重にも紡ぎ合わせながら指導していくとき、自分の命・人の命を大切にすることが実を結ぶのだと思います。

これから子供たちは、知ったこと・覚えたことをつなぎ合わせ、「自分の命は自分で守る」を「実践」していくこととなります。しかし、まだまだ成長過程にある子供たちです。時には判断を誤ったり、危なげな行動をとったりする場面も見られると思います。保護者・地域の皆様には、その場での注意・指導はもちろんのこと、旬を逃さず学校への情報提供をいただけますと幸いです。安全指導を目的とした学校行事を実施するにあたり、子ども見守り隊をはじめ地域の皆様方には、御多用のところ懇切丁寧な御指導をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。

最近、朝、登校する子供たちの姿に微笑ましい光景が見られます。例えば、正門前であいさつを交わすとき、上学年のお兄さん・お姉さんが手本を示しながら、黄色い帽子を被った一年生に、「大きな声を出すんだよ」「頭をしっかりと下げるんだよ」などと声をかけてくれます。アドバイスをもらった一年生も自信を持って堂々と挨拶する姿が増えてきました。これも地域の皆様に支えられて育ってきた柳迫小学校の子供たちのよき伝統だと思います。きっと安全のバトンも大切につないでくれることと信じています。



